

# 5 災害による影響と対応

災害が発生した場合、被害は「ヒト」、「モノ」、「カネ」、「情報」などさまざまな面に及びます。

産地BCPを策定する上では、こうした影響を多角的に把握し、事前にできる備えと、災害発生後取るべき対応を整理しておくことが重要です。

ここでは、災害による具体的な影響を想定し、被害を最小限に抑え、重要な業務を継続・早期復旧するための取組内容を明確にしていきたいと思います。

## ▶ 検討のポイント

1. 災害による影響を多角的に分析  
災害が及ぼす具体的な影響を想定しましょう。
2. 事前に取り組むべき措置を検討  
災害の発生を完全に防ぐことは困難ですが、被害を最小限に抑えるために可能な事前対策（ハウス補強、保険加入、連絡網の整備など）を検討しましょう。
3. 災害発生後の事業継続措置を計画  
被害を受けた場合でも、重要業務を継続するための具体的な対応策（代替ルートの確保、復旧資材の調達など）を策定しましょう。
4. 優先順位を設定  
各影響の重要度や影響範囲を評価し、対応の優先順位を明確にしましょう。

### 取組内容の例

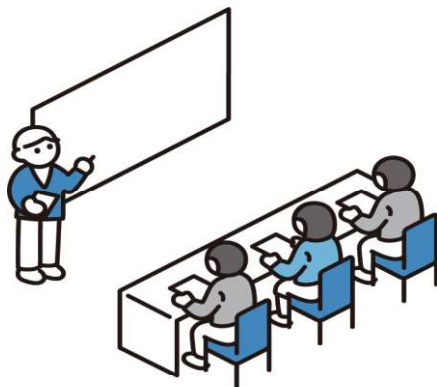
ヒ ト：安否確認の方法・構成員の避難所・構成員の連携方法等

モ ノ：移動可能なモノの移動先・資材の備蓄・ハウス補強等





カ ネ：復旧のための費用・農業保険の検討等

情 報：PC等の移動・データのバックアップ等

その他：上記以外で、事業継続に大きな影響が出るもの（例：道路などのインフラ・入荷予定の種苗等）



記載例

種別	影響	取組内容		備考
		事前	事業継続	
 ヒト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 停電で携帯電話の不通により、構成員と音信不通</li> <li>・ 道路、交通機関の不通で構成員の移動が不可能</li> <li>・ 本人や家族が被災し、業務従事ができない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緊急時の連絡体制や安否確認手段を決めておく</li> <li>・ 非常時の協力体制を調整する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 構成員の安否確認を迅速に行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緊急連絡手段としてグループSNSを活用</li> </ul>
 モノ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ハウスの被覆資材の破損や倒壊が発生</li> <li>・ 停電によるハウス内設備（かん水装置等）の操作不能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 耐久性が低いハウスは事前に補修を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産地で協力し、自力施工を行いハウスを復旧する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 老朽化ハウスの更新を計画的に進める必要がある</li> </ul>
 カネ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 被災後の資金繰りの不安</li> <li>・ 契約出荷先への欠品が発生し、信頼低下や契約打ち切りのリスク</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業共済等のセーフティネットへの加入を促進し、補償対象を拡充</li> <li>・ 契約出荷先と災害時の対応について事前に協議し、柔軟な契約を検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 被災状況を把握し、農業共済組合等に連絡し速やかに補償内容を確認する</li> <li>・ 契約出荷先への欠品を補うため、他産地や市場と連携して出荷量を確保</li> </ul>	
 情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害時に被災状況が把握できず、産地全体での対応が遅れる可能性がある</li> <li>・ 情報が一元化できていないと対応が混乱する可能性がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グループSNSやメッセージアプリを活用し、生産者間でリアルタイム情報を共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JAを通じて市場や契約出荷先に被災状況を速やかに報告</li> <li>・ 災害復旧に必要な情報を行政に提供し、支援を受ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報共有ツールの利用方法を定期的に確認し、災害時にスムーズに活用できる体制を整備</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道路・橋梁などインフラの寸断</li> <li>・ ガソリン・軽油など燃料の不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 代替ルートの事前確認、輸送業者との連携</li> <li>・ 燃料備蓄や給油契約</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 被害箇所の情報収集、緊急時の物流手配</li> <li>・ 給油所の稼働状況確認、燃料調達方法の再検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域のハザードマップ等を活用</li> </ul>

# 6 関係者の役割分担

災害時における混乱を防ぎ、効率的な対応を行うために、関係者ごとの役割や責任を明確化することが重要です。初動対応から復旧までの流れをスムーズに進める体制を構築しましょう。

## ▶ 検討のポイント

1. 構成員を網羅的にリストアップ  
災害対応に関わるすべての構成員（農業者、JA、自治体など）をリスト化し、それぞれに適切な役割を割り当てましょう。
2. 役割を明確に設定  
各関係者が担うべき具体的な業務内容を設定しましょう。
3. 緊急時の連携を重視  
関係者間の情報共有や意思決定の流れを整理し、災害時でも迅速に連携できる体制を整備しましょう。
4. 役割分担の柔軟性を確保  
災害の規模や種類に応じて役割を調整できるよう、補佐役や代替担当者を設定しましょう。

### 役割の例

①責任者 ②事務局 ③協力体制の構築及び維持管理 ④取引先との調整 ⑤資金の調整  
⑥現場の復旧及び把握 ⑦安否確認 ⑧被害情報の集約 ⑨救護対応 ⑩人・物資支援調整

## 記載例

構成グループ	役職	担当者名	役割
JA〇〇	〇〇課長	〇〇〇〇	責任者
JA〇〇	営農指導員	〇〇〇〇	事務局、情報収集・発信
〇〇部会	部会長	〇〇〇〇	状況把握、協力体制の構築及び維持管理
〇〇部会		〇〇〇〇	状況把握
〇〇農業事務所		〇〇〇〇	被害状況把握、被害後の技術対策支援
〇〇市役所		〇〇〇〇	被害状況把握、復旧関連事業支援
〇〇農業共済組合		〇〇〇〇	被害状況把握、共済金の支払い

# 7 緊急時の対応

これまでの項目で整理した内容（目的と方針、想定する災害、重要業務、役割分担）を基に時間軸に沿って具体化しましょう。

時間軸に沿って重要業務を再開する行動を明確にすることで、災害時の混乱を防ぎ、事業継続力を向上させます。

また、関係者全体で計画を共有し、効率的かつ迅速な対応を実現するため、この項目を具体的に記載し、産地全体の連携を強化しましょう。

## ▶ 検討のポイント

### 1. 段階的な対応計画を立案

災害発生後の対応を、初動対応（被害状況の把握や安否確認など）、作業準備（作業方針決定や機械準備など）、重要業務の再開といった段階に分け、それぞれで実施すべき業務や対応内容を整理しましょう。




### 2. 重要業務を中心に計画

事業に不可欠な重要業務（収穫作業、物流調整、復旧作業など）を軸に、再開に向けた準備や行動の優先順位を設定します。重要業務の再開を「目標復旧時間」とし、その時点までに必要な準備や調整を進めましょう。

### 3. リソースの確保と連携

業務再開に必要な人員、設備、資材、情報を計画的に確保し、関係者間（農業者、JA、自治体等）と連携して対応しましょう。

## 記載例

時間経過	対応内容
発災から 36時間 初動対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 構成員の安否確認</li> <li>• 農地、ハウス、作物、施設、機械設備等の被害状況確認</li> <li>• 被害内容を事務局に報告</li> <li>• 作業対応の確認</li> <li>• 収穫、出荷状況の確認</li> </ul> 
発災から 42時間 作業準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 被災状況に応じた作業方針決め</li> <li>• 構成員への指示</li> <li>• 取引先への状況報告</li> <li>• 収穫・出荷機械の稼働準備</li> <li>• 収穫物の保管及び出荷調製場所の確保</li> </ul> 
発災から 48時間 重要業務再開	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 被災状況に応じた収穫・出荷対応</li> <li>• 収穫・出荷機械等の稼働</li> <li>• 取引先への出荷予定報告</li> <li>• 農業共済組合への報告</li> </ul> 

# 8 訓練と見直し

産地BCPを実際に機能させるためには、計画の実効性を確認し、定期的な見直しを行うことが不可欠です。訓練を通じ産地BCPを「実践で使える計画」に進化させていきましょう。

## ▶ 検討のポイント

### 1. 訓練の実施

訓練を毎年9月1日「防災の日」に行うなど、具体的な訓練日を決定しましょう。  
台風や地震による被害を想定したシミュレーションを検討しましょう。  
緊急時の行動計画が現場で機能するかを確認し、関係者間で課題を共有しましょう。

### 2. 訓練後の見直し

訓練結果や実際の災害対応経験を基に、計画を見直し、更新しましょう。  
訓練後に産地BCPの更新内容を構成員で共有しましょう。

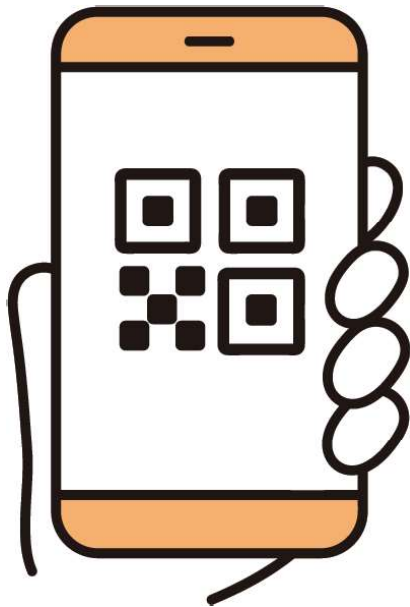
## 見直しチェックリスト

✓	項目
	災害リスクの新たな追加はないか？
	重要業務の内容や優先順位が変化していないか？
	関係者の役割分担に変更がないか？
	必要な資材や備蓄品に不足がないか？
	防災設備や避難所に変更がないか？

## 次回更新予定日と訓練予定日

更新予定日	年 月 日
訓練予定日	年 月 日





スマートフォン等でQRコードを読み取りいただくと、ホームページやアプリを確認いただけます。

### 防災情報全般 千葉県防災ポータル



<https://www.bousai.pref.chiba.lg.jp/>

### 災害・防災情報 国土交通省



<https://www.mlit.go.jp/saigai/>

### 気象情報 銚子地方气象台



<https://www.data.jma.go.jp/choshi/shosai/data/datalink.html/>

### 気象情報 気象庁キキクル



<https://www.jma.go.jp/>

### 雨量・水位情報 国土交通省川の防災情報



<https://www.river.go.jp/>

### 停電情報 東京電力



<https://teideninfo.tepco.co.jp/flash/12000000000.html/>

### 土砂災害警戒情報 千葉県土砂災害警戒情報システム



<http://dosyabo.bousai.pref.chiba.lg.jp/chibaDosya/web/top/>

## 災害用伝言ダイヤル

大規模な災害の発生時に、安否確認の電話によって電話回線が混雑し、電話が繋がりにくい状況でも、伝言の録音・再生により、被災地内の家族や親戚・知人との連絡を可能にする伝言板です。



# 付録：産地BCPフォーマット

策定・最終更新日 \_\_\_\_\_ 年 月 日

<産地名： \_\_\_\_\_ >

## 1. 産地の概要

産地の概要				合計
栽培品目				
作付面積	ha	ha	ha	ha
生産量	t	t	t	t
農業者数	戸	戸	戸	戸
ハウスの状況				
農業保険の加入状況				
その他				

## 2. 目的と方針

<目的>
<方針>

## 3. 重要業務と目標復旧時間

<重要業務>
<目標復旧時間>
時間以内

#### 4. 想定する災害と内容

種類	内容	発生 頻度	被害 規模	優先 度

#### 5. 災害による影響と対応

種別	影響	取組内容		備考
		事前	事業継続	
ヒト				
モノ				
カネ				
情報				
その他				



## 7. 緊急時の対応

時間経過	対応内容
発災から 時間 <b>初動対応</b>	
発災から 時間 <b>作業準備</b>	
発災から 時間 <b>重要業務再開</b>	

## 8. 訓練と見直し

### 見直しチェックリスト

✓	項目
	災害リスクの新たな追加はないか？
	重要業務の内容や優先順位が変化していないか？
	関係者の役割分担に変更がないか？
	必要な資材や備蓄品に不足がないか？
	防災設備や避難所に変更がないか？

### 次回更新予定日と訓練予定日

更新予定日	年	月	日
訓練予定日	年	月	日



[引用・参考文献]

- 1)農林水産省 令和6年4月：「園芸産地における事業継続強化対策産地 BCP 推進マニュアル」
- 2)農林水産省北海道農政事務所釧路地域拠点 令和7年9月：「農業版BCP携帯用ハンドブック（畑作用）」
- 3)農林水産省：参考資料「BCP（事業継続計画）とは」
- 4)中小企業庁：「中小企業BCP策定運用指針～緊急事態を生き抜くために～」
- 5)国立研究開発法人防災科学技術研究所：「災害事例データベース」
- 6)東京電力パワーグリッド株式会社：「停電情報」
- 7)国土交通省：「ハザードマップポータルサイト」、「災害・防災情報」、「川の防災情報」
- 8)気象庁：「キキクル」
- 9)銚子气象台：「千葉県版気象庁HPデータリンク集」

[千葉県園芸産地におけるBCP策定マニュアル検討メンバー]

全国農業協同組合連合会千葉県本部 営農園芸部営農支援課

全国農業協同組合連合会千葉県本部 生産資材物流部資材課

千葉県農業者総合支援センター

千葉県農業共済組合

千葉県農林水産部 担い手支援課専門普及指導室

千葉県農林水産部 生産振興課園芸振興室

千葉県園芸産地におけるBCP策定マニュアル

---

令和8年3月発行

千葉県農林水産部生産振興課

〒260-8667

千葉県千葉市中央区市場町1-1

TEL: 043-223-2882 FAX: 043-222-5713

